



07

災害時の安否確認

地震などの大きな災害が起こると、家族や友人の安否確認のために、被災地への電話が殺到します。東日本大震災の直後は、最大で平常時の50〜60倍以上の通話が集中しました。

通話が集中すると、発信規制や通制限が行われ、電話やメールがつながりにくくなる場合があります。こうした場合、離れた場所に居る人の安否を確認するには、次の方法があります。

①災害伝言ダイヤル（☎171）

災害伝言ダイヤルは、音声メッセージの録音や再生ができる声の伝言板です。☎171にダイヤルすると、音声ガイダンスに従って30秒以内の伝言を録音・再生できます。

②災害用伝言板（インターネット）

災害用伝言板は、大規模な災害発生時に、各携帯電話会社によって緊

急開設されるサービスです。

専用のウェブサイトやアプリを利用して、携帯電話やスマートフォンから安否情報や伝言メッセージを登録・確認できます。

安否情報やメッセージの登録・確認方法は、利用する携帯電話会社によって違います。スマートフォンでは、事前に専用アプリのダウンロードが必要な場合があります。

お使いの端末での利用方法を事前に確認しておきましょう。

■体験サービスを利用しましょう

災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板は、定期的に体験サービスを実施しています。

大切な人が自分の安否を確認できるように、ぜひ一度、ご家族の皆さんで利用方法を確認してください。

【体験サービス期間】

- ① 毎月1日と15日
- ② 1月1日〜3日
- ③ 8月30日〜9月5日（防災週間）
- ④ 1月15日〜21日（防災とボランティア週間）

※実際に災害が発生した際は、体験サービスを中止します

歴史散歩

第269回

「葛貫の宿と街道」

葛貫地区は、平安時代後期、軍馬の飼育や繁殖に置かれた葛貫牧と呼ばれる重要な牧場があったのではないかとされています。この管理を行っていた別当（長官）が、葛貫能隆です。能隆は、河越氏の祖となる人物で、後に河越館（現在の川越市上戸）を拠点に活躍しました。戦国時代になると、葛貫地区は、後北条氏の勢力下になります。永禄2年（1559）に作られた後北条家臣の領地とその面積を記した『小田原衆所領役帳』には「河越三十三郷葛貫」とあり、後北条一族が直接領地を治めていました。また、江戸時代の葛貫村の鎮守住吉四所神社の史料には「葛貫莊弥蔵村」と記され、戦国時代以降も葛貫莊という古い地名が使われています。

葛貫地区には、宿谷氏により開か

れた薬王寺があり、葛貫地区の東に位置する坂戸市多和目には、永源寺や田波目城といった宿谷氏に関係の深い寺院・史跡があります。

宿谷氏ゆかりの地を通る古道は、山間を越え高麗へ抜ける飯能道と接続しています。葛貫地区は「本宿」という小字もありますが、毛呂本郷のような街道沿いの宿場町のようなはありません。しかし、葛貫牧の伝承や東西方向に走る鎌倉街道と呼ばれる道の存在は、葛貫地区が江戸時代以前から、河越方面から高麗川を渡り、山間地域へ連絡する重要な場所であったことを伺わせます。八王子と上州（今の群馬県）を結ぶ八王子往還（現在の県道飯能寄居線とほぼ同じ道筋）と古道が交わる葛貫地区は、道と宿の歴史を知る上で興味深い地域です。



宿谷氏によって開かれたとされる葛貫地区の薬王寺



毛呂山町立図書館
☎ 049(295) 1015
平日 9:30 ~ 19:00
土日祝 9:30 ~ 17:30

おはなしポケ

- 日 10月4日(火)、25日(火)
午前11時~11時30分
- 場 1階おはなしコーナー
- 対 0~3歳児と保護者
- 内 わらべうた、手遊び、読み聞かせ、紙芝居など

おはなしのクレヨン ~ふしぎなせかい~

- 日 10月22日(土)午後2時~2時30分
- 場 2階視聴覚室
- 対 3歳~小学生 (大人もどうぞ)
- ※未就学児は保護者同伴
- 内 おはなし「王子さまの耳は、ロバの耳」ほか

子ども映画会

- 日 10月8日(土)午後2時~3時30分
- 場 2階視聴覚室
- 対 小学生以下
- 内 モンスターハウス

あらすじ 少年DJは、向かいの家をずっと怪しんでいた。ある日、親友チャウダーとその家を調べたら、なんと家自体が生きている事がわかった！
彼らはジェニーを仲間に加え、町を守るため、「モンスターハウス」に挑む。

定 50人



『ウミガメものがたり』

鈴木まもる/作・絵 童心社/出版
ウミガメの瞳が印象的な美しい絵とシンプルな文章で描かれています。読んだ後はきっと、色いろな思いが心に残ります。子どもにも大人にも読んでほしい、命のものがたりです。



光大使の「サスケ」の北清水雄太さんと奥山裕次さん、「P

(匿名さん)

・もろ丸くんは、たくさんのお友達がいてと思うけど、毛呂山町の観光大使の皆さんもお友達なの？

もろ丸くん
いっしょ



お便りコーナー

あて先はこちら▶✉ hisyo@town.moroyama.lg.jp、または図書館・児童館玄関に設置の専用ポスト。
住所・氏名を記載し、採用された人には特製ステッカーをプレゼント!

ASSPO☆」リーダーの根岸愛さん、競泳選手でリオ五輪メダリストの瀬戸大也選手は4人とも、ぼくの大切なお友達だよ！
観光大使のみんなは、お仕事やSNSで毛呂山町をPRしてくれているんだ！
ぼくも、サスケの「エールソング」のPVに出演したり、リオ五輪のときにはパブリックビューイングで瀬戸選手の応援隊長をつとめたりして、お互い協力しているんだよ！
瀬戸選手がブラジルから日本に帰って来た時は、ぼくのぬいぐるみを受け取ってもらったんだ！
匿名さんも、観光大使のみんなをいっしょに応援してね♡

安全・安心



☎ 役場生活環境課
交通防犯係
☎049(295)2112
内線173

夕暮れ時は早めにライトを点灯しましょう

交通事故は、午後4時から6時までで多発する傾向があり、日没が早まるこの時期の発生件数がより多くなっています。

車・バイク・自転車は午後4時以降はライトを点灯しましょう。また、自転車や歩行者は、明るい服装を心がけ、反射材等を活用しましょう。車も歩行者も、自分の存在を相手に認識しやすくする「思いやり」を

持つと、交通事故防止や自己防衛にもつながります。

夜間の歩行者は運転者からどう見えているか

夜間、車がヘッドライトを下向きにして時速60kmで走行している場合、黒っぽい服装の人は車から約26mの距離まで近寄らないと発見できません。明るい(白っぽい)色の服装では約38m、反射材を身につけた人で約50mです。なお、時速60kmで走行中の自動車は、歩行者に気づいて停止させるまでに、約44mの距離が必要です。
反射材を身に着けて、交通事故から身を守りましょう。